

平成30年度通常代議員総会議案書

【審議事項】

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 第1号議案 | 平成29年度事業報告並びに決算報告について |
| 第2号議案 | 任期満了に伴う理事14名の選任について |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う監事2名の選任について |
| 第4号議案 | 学士会選挙管理委員会委員
及び選挙区委員会委員の推薦について |

平成30年6月21日

一般社団法人 学士会

【審議事項】

第1号議案

平成29年度事業報告並びに決算報告

I. 平成29年度事業報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

事業概況

平成29年度の本会は、取り組むべき重点課題として以下の4点を掲げ、当該課題に対する積極的な取組を行うとともに、定款に定める各種事業を実施してきました。

- (1) 本会の魅力作りに向けた活動の展開
- (2) 七大学及び関連同窓団体との連携協働による会員増強の新たな取組み
- (3) 経営の改善と安定化への取組み
- (4) 学士会館の機能強化と将来構想への検討着手

平成29年度の各種事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、重点課題に対する取組み結果等について報告致します。

(1) 本会の魅力作りに向けた活動の展開

会員にとって本会の存在や活動を一層魅力あるものにするため、既存事業（講演会や会報発行）の内容充実に努めるとともに、会員各層（若手会員、女性会員、シニア会員、地域会員等）のニーズに応えるべく、当該会員にとって魅力あるプログラムの開発・提供に取り組んで来ました（実施活動の具体的内容につきましては、次頁以降に詳述致します）。

講演会（午餐会・夕食会等）の企画に際しては、会員にとって興味・関心の高いテーマの選定に努めるとともに、ノーベル賞受賞者をはじめとする魅力ある講師陣の人選に努め、結果、多くの方の参加を得ることができました。また、本会事業を代表する『學士會会報』は、会員のみならず多くの方々から高い評価を得ております。

これら魅力ある本会の活動ではありますが、新規会員の獲得手段や入会動機には必ずしも充分結びついていないとは言えず、本会の認知度を高め、本会の魅力を伝えていく努力と工夫が一層強く求められていると言えます。

(2) 七大学及び関連同窓団体との連携協働による会員増強の新たな取組み

会員増強のための常設委員会である「会員増強実行委員会」による検討・提案をもとに、理事会において「学士会大学支部規程」を整備・策定し、当該規程に基づく大学支部を設け支部長には各大学総長に就任頂きました（平成29年11月）。

また、昨年10月には本会の呼びかけにより、各大学の卒業生・同窓会を所管する部門の責任者・関係者に集まって頂き「七大学同窓会担当役員・事務局連絡会議」を開催致しました。各大学が抱える課題の共有や有効的な実施施策の紹介など、忌憚のない意見交換・情報交換を行うことができました。当会議は今後とも継続して開催していきます。

これら、七大学あるいは関連同窓団体との信頼・協力関係の深まりにより、卒業式やその他の機会を捉えての入会勧誘活動に多大な協力が得られるようになりました。新卒業学士・修士等に対する組織的な入会勧誘活動を初めとして、(現状は一部大学に留まっております)新入生に対する組織的な入会勧誘活動(「学生会員」勧誘)も実施できるようになり、大きな成果に繋がっております。

今後ともこのような取組みを拡大させて参ります。

(3) 経営の改善と安定化への取り組み

本会の収入は会費および会館運営収入に大きく依存しています。会員数減少に伴う会費収入の落ち込みは依然続いていますが、本年度も前年度同様に終身会員への切り替えが予想以上に図られ、終身会費の伸びにより会費収入は目標を大きく上回る結果となりました。

一方、(株)学士会館精養軒に運営を委託しております会館運営事業は、婚礼事業の大幅な減収などにより同社の経営を厳しいものにするるとともに、本会の会館収入(同社からの納付金)の減収にも繋がっております。今後も会館運営を取り巻く事業環境は一層の厳しさが予想されるため、本会においても引き続き経費の節減や効率的な業務運営に努め、経営の安定化に向けた努力を行って参ります。

(4) 学士会館の機能強化と将来構想への検討着手

学士会館の適正な維持管理の為に定期的な保守メンテナンスを行うとともに、経年劣化対応や利用者ニーズに対応するため、会館施設の改修や附属機器の更新・機能向上等を適宜行い、商業施設としての機能維持、品質向上に努めました。

また、昨年は事業計画に基づき、理事長の下に将来に向けた学士会館の整備問題を検討するための検討会(「学士会館の整備に関する検討会」)を設け、様々な視点からの検討を行ない、理事会に対し検討結果の報告を行うとともに本問題に関する新たな専門委員会の設置を答申致しました。

平成30年度は、本答申に基づく新たな委員会(「学士会館整備検討委員会」)を設置し、学士会館の整備方針に関する具体的な検討を、期限を定めて行うこととしております。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

1. 会 報 (『學士會會報』及び『NU7』)

本学会報である『學士會會報』と『NU7』を隔月に同時発行致しました。『學士會會報』は第924号を平成29年5月、第925号を7月、第926号を9月、第927号を11月、第928号を平成30年1月、第929号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。また、『學士會會報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

七大学総合情報誌として平成27年9月より発行している『NU7』は、第11号を5月、第12号を7月、第13号を9月、第14号を11月、第15号を平成30年1月、第16号を3月にそれぞれ発行し全会員に配布するとともに、同窓会等で学士会館を利用する卒業生や七大学関係者、そしてホームカミングデー、地域講演会の参加者等に無料で配布し、会員増強に資するよう努めました。

また、本年は3年振りに『会員氏名録』を発行しました。平成29年7月31日現在の会員氏名録原稿をもとに編集を行い、11月に「平成29年会員氏名録」として発行しました。

2. 学 士 会 館

(1) 会館の利用実績は次の通りです。

□ 会 議 室 利 用 回 数	3,960回 (3,912回)	※カッコ内は前年度の実績
□ 会 議 室 利 用 人 員	162,806名 (163,558名)	} ※延べ人数 計 340,821名 [1日平均957名]
□ 宿 泊 室 利 用 人 員	8,670名 (8,406名)	
□ レストラン等利用人員	156,723名 (152,511名)	
□ 読 書 室 利 用 会 員	3,161名 (3,466名)	
□ 会員倶楽部室利用会員	9,461名 (9,536名)	

(2) 会館を適切に維持・保全するために、次の通り会館の補修・改修工事を行いました。

- ・201・210・320号室音響・映像・照明改修工事
- ・地階ポンプ室スプリンクラー設置工事
- ・エレベーター、外部エスカレーター、リフト修理工事（経年部品交換）
- ・紅楼夢厨房空調機改修、320号室配膳室空調機設置工事
- ・各所漏水対策補修工事
- ・各種設備保全修理工事

3. 講演会、談話会、その他の集会

(1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,360名の参会がありました。なお、8月、12月は例年通り休会致しました。

日本の気候変動の実態と将来予測	西 出 則 武 氏	(平成29年 4月例会)
糖尿病の発症予防と最新治療	春 日 雅 人 氏	(平成29年 5月例会)
恩師 長谷川伸先生から学んだこと	平 岩 弓 枝 氏	(平成29年 6月例会)
トランプ政権半年総括	小 松 浩 氏	(平成29年 7月例会)
クローン文化財～法隆寺金堂壁画・釈迦三尊像の再現		
	宮 廻 正 明 氏	(平成29年 9月例会)
長寿時代におけるセカンドライフの設計	秋 山 弘 子 氏	(平成29年10月例会)
北斎とジャポニスム	馬 渕 明 子 氏	(平成29年11月例会)
宗像・沖ノ島祭祀遺跡の調査と成果	小 田 富士雄 氏	(平成30年 1月例会)
二・二六事件における一般兵士―大衆軍隊の出現の意味		
	三 谷 太一郎 氏	(平成30年 2月例会)
じっくりこない日本語	北 原 保 雄 氏	(平成30年 3月例会)

(2) タ 食 会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,493名の参会がありました。なお、5月と8月は例年通り休会、1月は「新春講演会」開催のため休会致しました。

混迷の中東・欧州をトルコから読み解く	内 藤 正 典 氏	(平成29年 4月例会)
EUはどこに向かうのか	遠 藤 乾 氏	(平成29年 6月例会)
続々見つかる「第二の地球」候補―地球外生命発見への期待―		
	渡 部 潤 一 氏	(平成29年 7月例会)
がん免疫療法～その効果と可能性	河 上 裕 氏	(平成29年 9月例会)
私の棋士人生	加 藤 一二三 氏	(平成29年10月例会)
中国・北朝鮮情勢と日本の外交	宮 家 邦 彦 氏	(平成29年11月例会)
2018年日本政治の展望	芹 川 洋 一 氏	(平成29年12月例会)
食の進化と共生	山 極 壽 一 氏	(平成30年 2月例会)
しんかい6500の世界	大 西 琢 磨 氏	(平成30年 3月例会)

(3) 新春講演会

本年度は次の通り、新春講演会を開催し、240名の参加がありました。

酵母から学んだこと 大隅良典氏 (平成30年 1月12日)

(4) 関西茶話会

本年度は昨年に引き続き、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延107名の参加がありました。

第28回「日本絵画を読み解く」 佐々木正子氏 (平成29年 4月22日)

第29回「大阪弁の歴史とイメージ形成-役割語の観点から-」
金水敏氏 (平成29年 6月17日)

第30回「博物館で探るヒトの知恵の進化」 大野照文氏 (平成29年11月18日)

(5) 見学会等

首都圏及び関西地域において、以下のとおり見学会等を開催しました。

[首都圏]

本年度は次の通り、見学会を開催し、延42名の参加がありました。

「カナダ大使館見学会」 (平成29年 6月28日)

「東京大学大学院農学生命科学研究科附属牧場見学ツアー」 (平成29年 9月 9日)

[関西地区]

本年度は次の通り、見学会(解説付き)等を開催し、各40名、111名、34名の参加がありました。

「對龍山荘見学会」 小川史郎氏 (平成29年 6月 3日)

「京都国立博物館開館120周年記念展覧会(国宝)見学会」
降矢哲男氏 (平成29年10月13日)

「大阪企業家ミュージアム見学会・講演会」 宮本又郎氏 (平成30年 2月17日)

(6) クリスマス家族会

平成29年12月23日、学士会館においてクリスマス家族会を開催致しました。「催し」として、忍者マジシャン Mr. ニンニンによる体験型マジックショーを開催し、368名の参加がありました。

(7) 新年祝賀会

平成30年1月5日、佐々木毅理事長の新年の挨拶、賀宴、米澤賢一会員の謡曲披露の後、「催し」として、平曲(正調平家琵琶)弾き語り奏者 荒尾努氏による「平家琵琶の調べ」で新年を祝いました。198名の参加がありました。

(8) 若手交流会

本年度は次の通り、45歳までの会員を対象とした若手限定交流会を開催し、41名の参加がありました。

独身会員限定 夜の花やしき貸切パーティー (平成30年 3月21日)

(9) 若手茶話会

本年度、42歳までの会員を対象とした茶話会（「土曜カフェ」「土曜ランチ」）を毎月定例で開催しました。会員が提案する様々なテーマでの討論やディスカッションを行い、交流を深めました。また、その中から「読書会」や「ミニプレゼン会」、「名古屋ランチ」など参加者が運営する会を独立開催し、延478名の参会がありました。

<テーマ・ゲスト>

「学生の思い出」	日江井 榮二郎 氏	(平成29年 5月27日)
「お国柄」	藤 井 郁 也 氏	(平成29年 6月25日)
「グローバル・リーダーを目指すあなたへのメッセージ ～壁を乗り越える“Crossover”という生き方～」(ミニプレゼン会)	池 田 洋一郎 氏	(平成29年 7月12日)
「フリートーク」	瀧 田 敏 彰 氏	(平成29年 9月30日)

(10) 女 性 会

本年度は次の通り、女性会員を対象とした女性会を開催し、延47名の参会がありました。

「メイクセラピー教室」	(平成29年 5月20日)
「フラ体験教室」	(平成29年 8月 5日)
「東京友禅色挿し体験教室」	(平成29年10月28日)
「朝の築地めぐりとお正月料理」	(平成29年12月16日)
「気功・太極拳教室」	(平成30年 2月17日)

(11) 地域講演会

昨年度に続き、北海道、東北、名古屋、九州大学の所在地域で講演会を開催し、延508名の参会がありました。

□北海道地区（講演会・懇親会）	共催 学士会、北海道大学校友会エルム 後援 北海道大学、北海道新聞社 NHK札幌放送局
「世界的課題解決に貢献する国立大学の使命～北海道大学の挑戦～」	名 和 豊 春 氏 (平成29年10月14日) (103名)
□名古屋地区（講演会・夕食会）	共催 学士会、名古屋大学全学同窓会 後援 名古屋大学
「チカラある分子を創る 合成化学、ナノカーボン科学、生命科学の融合」	伊 丹 健一郎 氏 (平成29年12月 5日) (160名)
□東 北 地 区（講演会・懇親会）	主催 学士会 共催 東北大学、東北大学萩友会 後援 河北新報社、NHK仙台放送局
「仙台藩の戊辰戦争」	中 村 彰 彦 氏 (平成30年 2月 3日) (107名)

□九州地区（講演会・懇親会）

主催 学士会、九州学士会

後援 九州大学、九州大学同窓会連合会

福岡市・福岡市教育委員会

西日本新聞社、NHK福岡放送局

「書の魅力ーその魅力と見方ー」

島谷弘幸氏（平成30年 3月 3日）

（138名）

（12）ホームカミングデーへの出店

昨年度に引き続き、本年度も各大学が主催するホームカミングデーに、次のとおり参加しました。

- ① 大阪大学 学士会紹介（平成29年 4月30日）
- ② 東北大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介（平成29年 9月30日
10月 1日）
- ③ 東京大学 学士会ビア屋台（平成29年10月21日）
- ④ 名古屋大学 学士会紹介（平成29年10月21日）
- ⑤ 京都大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介（平成29年11月 3日）

（13）サマーパーティー・クリスマスパーティー

東京大学校友会と共催で、独身者を対象とした若手交流会を開催し、延92名の参会がありました。

「サマーパーティー2017」（平成29年 7月16日）

「クリスマスパーティー2017」（平成29年12月17日）

（14）ウェルカムパーティー

若手会員が今年度の新卒会員を招待する形でのイベント「ウェルカムパーティー」を平成29年7月29日に開催しました。64名の参会がありました。

（15）七大学学生の集い

学生会員に対する企画イベントとして、平成30年2月7日に「第4回 七大学学生の集い」を開催しました。本年度も七大学の学部生及び大学院生を対象に募集を行い、参加学生同士の交流を行うと共に、今回は学士会館提携の美容室「アプローズ」協力のもと、就職活動等に対応したヘアアレンジ講習会を実施いたしました。学生会員14名の参加がありました。

（16）鑑賞ツアー

外部団体が企画・主催する「演劇」「コンサート」「古典芸能」等の文化・芸術イベントを、価格割引、優良席提供等の会員特典を付与して紹介・斡旋する「鑑賞ツアー」を、本年度は11回企画・実施し、延748名の参加がありました。

（17）良縁企画

結婚を希望している会員や、その親御様を対象にした企画を「学士会館・良縁倶楽部」と共催し、延51名の参会がありました。

「年代限定良縁パーティー」 (平成29年 8月 5日)

「親から始める子どものための良縁イベント」 (平成29年 9月17日)

(18) 親子向け企画

子育て世代が、子どもと一緒に参加可能な企画を開催し、延93名の参会がありました。

「間伐皮むき親子体験 in 高尾の森」 (平成29年 5月28日)

「学士会ボードゲーム大会」 (平成29年 8月 6日)

「親子で防災体験学習」 (平成30年 2月24日)

「あなたの腕に一直線！学士会館屋上で鷹匠体験」 (平成30年 3月25日)

(19) シニア世代向け企画

主に、シニア世代を対象にした企画を開催し、延41名の参会がありました。

「オリンピック代表選手に学ぶ初心者向けウォーキング教室」 (平成29年11月 3日)

「歌声喫茶 I N 学士会館」 (平成29年12月 2日)

4. 諸会議等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、平成29年6月22日学士会館において開催致しました。当日の出席代議員67名、書面等による議決権行使代議員25名、合計92名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

議案1 平成28年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の承認について

議案2 任期満了に伴う監事2名の選任について

(2) 臨時代議員総会

平成30年3月15日、臨時代議員総会を学士会館において開催致しました。当日の出席議員は65名、書面等による議決権行使代議員23名、計88名の出席により成立し、増子昇総会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案1 平成30年度事業計画案及び予算案について

議案2 理事の補充選任について

報告事項 学士会館の整備に関する検討について

(3) 理事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会 (平成29年 4月27日)

1. 平成29年度通常代議員総会の開催について
2. 平成29年度理事会日程について
3. 平成28年度決算概要について

報告(1) 「学士会館の整備に関する検討会」の設置について

(2) 新卒業学士等の入会状況について

(3) 平成28年度末会員数及び年度内動向

□5月理事会（平成29年 5月25日）

1. 平成29年度通常代議員総会の議案について
 2. ㈱学士会館精養軒の第66期定時株主総会議案について
- 報告（1）会員増強について—会員数の増減等—

□6月理事会（平成29年 6月22日）

1. 大崎（副理事長）の「退任申出」と今後の対応について
2. （本日開催）通常代議員総会について

□7月理事会（平成29年 7月27日）

1. 「会報編集委員会」委員の補充選任について
 2. 「会員氏名録」の発行（発行部数）について
- 報告（1）「会館の整備に関する検討会」開催報告
- （2）会員増強について
 - （3）現任代議員の「辞任」について
 - （4）「地域イベント（講演会・交流会）」の開催について
 - （5）第56回全国七大学総合体育大会（七大戦）の開会式について
 - （6）平成29年度後半の理事会等日程について

□9月理事会（平成29年 9月28日）

1. 学士会館の整備について
- 「会館の整備に関する検討会」からの報告—
2. 京都大学・楽友会館レストラン業務の運営受託について
- ㈱学士会館精養軒としての受託業務—
- 報告（1）会員増強について
- （2）夏期期間中の会館補修・改修工事の実施について
 - （3）「全国七大学総合体育大会」の競技結果及び閉会式について
 - （4）事務局人事について

□11月理事会（平成29年11月24日）

1. 平成29年度上半期決算報告—併せ（株）学士会館精養軒上半期決算報告—及び上半期資金運用状況報告並びに下半期資金運用計画（案）について
 2. 平成29年度「臨時代議員総会」の開催について
 3. 平成30年度の理事会等開催日程について
 4. 「学士会大学支部規程（案）」について
 5. 京都大学・楽友会館レストランの運営方針について
- 報告（1）「会館の整備に関する検討会」報告結果について
- （2）会員増強について

□1月理事会（平成30年 1月25日）

1. 平成29年度決算見通しについて
2. 「会館の整備に関する検討会」答申について
3. 平成29年度臨時代議員総会議題について

4. 事務局人事について

報告（１）会員増強について

（２）京都大学・楽友会館レストラン業務の受託契約締結について

□ 2月理事会（平成30年 2月22日）

1. 「会館の整備に関する検討会」答申について（1月理事会継続）
及び代議員総会への報告内容について

2. 平成30年度 事業計画案について—代議員総会第1号議案—

3. 平成30年度 予算案及び資金計画案について—同上—

4. 理事の補充選任について—代議員総会第2号議案—

報告（１）「会員増強」について

（２）地域講演会開催結果（東北）及び開催予定（九州）について

□ 3月理事会（平成30年 3月15日）

1. 「学士会館整備検討委員会」の運営について

報告（１）（本日開催）臨時代議員総会について

（４）監 事 会

平成29年5月25日に監事会を開催し、以下の議題について検査及び審議を行いました。

1. 平成28年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査

2. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について

3. 監査法人からの報告

4. 代議員総会第2号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）の件

（５）常 務 会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

（６）諸 委 員 会

ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回 平成29年 5月25日 会報第927号

第2回 平成29年 7月27日 会報第928号

第3回 平成29年 9月28日 会報第929号

第4回 平成29年 11月24日 会報第930号

第5回 平成30年 1月25日 会報第931号

第6回 平成30年 3月15日 会報第932号

イ. 会員増強実行委員会

委員会は、次の通り開催され、会員増強に向けての各種施策について協議を行いました。

また、『NU7』については、編集担当委員による内容確認の上で、隔月で発行しています。

第17回	平成29年	4月26日
第18回	平成29年	6月1日
第19回	平成29年	7月20日
第20回	平成29年	9月7日
第21回	平成29年	11月2日
第22回	平成30年	2月2日

なお、本委員会は平成30年4月以降も継続して開催されております。

ウ. 趣味同好会

平成29年12月1日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、懇親会を開催し、懇談を行いました。

5. 会 員

本年度における正会員の増減及び年度末正会員数は次の通りです。*カッコ内は前年度実績

新 会 員	773名	(870名)
逝 去 会 員	785名	(756名)
退 会 会 員	1,003名	(932名)
会費長期未納退会者	264名	(383名)
差 引 減	1,279名	(1,201名)
現 在 会 員 数	45,515名	(内 終身会員5,564名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が529名、平成21年度より新たに制度化された「新終身会員」が5,035名になります)

6. そ の 他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当会が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[株式会社学士会館精養軒の概要] (平成30年3月31日現在)

□名 称	株式会社学士会館精養軒
□所 在	東京都千代田区神田錦町3-28
□代表者	代表取締役社長 渡邊 幸重
□資本金	10,000,000円
□売上高	1,635,459千円 (平成29年度決算)

(株)学士会館精養軒の平成29年度の営業結果は、次の通りです。

□平成29年度 (平成29年4月1日～平成30年3月31日) 決算	
・ 売 上 高	1,635,459千円 (前年度: 1,647,954千円)
・ 営業利益	△2,808千円 (同 : 30,010千円)
・ 経常利益	2,370千円 (同 : 37,563千円)

なお、当会との取引関係については、「平成29年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	218,568,941	213,499,779	5,069,162
未収金	36,597,965	37,370,651	△ 772,686
仮払金	638,915	0	638,915
前払費用	4,455,839	1,562,145	2,893,694
流 動 資 産 合 計	260,261,660	252,432,575	7,829,085
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	432,393,320	432,393,320	0
建物	330,867,679	374,632,674	△ 43,764,995
基本財産合計	763,260,999	807,025,994	△ 43,764,995
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	1,554,748,000	1,558,744,800	△ 3,996,800
建物設備修繕特定資産	1,493,842,239	1,512,361,068	△ 18,518,829
会員活動強化特定資産	305,700,050	289,982,458	15,717,592
終身会費特定資産	97,805,000	87,300,000	10,505,000
退職給付引当特定資産	77,620,250	75,217,750	2,402,500
役員退職慰労引当特定資産	3,787,930	3,895,430	△ 107,500
特定資産合計	3,533,503,469	3,527,501,506	6,001,963
(3) その他固定資産			
什器備品	56,132,522	40,164,217	15,968,305
一括償却資産	1,058,741	448,467	610,274
ソフトウェア	10,465,119	6,475,711	3,989,408
子会社株式	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	67,672,382	47,104,395	20,567,987
固 定 資 産 合 計	4,364,436,850	4,381,631,895	△ 17,195,045
資 産 合 計	4,624,698,510	4,634,064,470	△ 9,365,960

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	27,094,612	21,810,735	5,283,877
前受金	3,644,320	2,686,915	957,405
預り金	1,370,114	955,727	414,387
未払消費税等	1,427,600	3,175,100	△ 1,747,500
賞与引当金	6,704,000	6,667,000	37,000
流動負債合計	40,240,646	35,295,477	4,945,169
2. 固定負債			
退職給付引当金	77,620,250	75,217,750	2,402,500
役員退職慰労引当金	3,787,930	3,895,430	△ 107,500
固定負債合計	81,408,180	79,113,180	2,295,000
負債合計	121,648,826	114,408,657	7,240,169
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	4,503,049,684	4,519,655,813	△ 16,606,129
(うち基本財産への充当額)	(763,260,999)	(807,025,994)	(△ 43,764,995)
(うち特定資産への充当額)	(3,452,095,289)	(3,448,388,326)	(3,706,963)
正味財産合計	4,503,049,684	4,519,655,813	△ 16,606,129
負債及び正味財産合計	4,624,698,510	4,634,064,470	△ 9,365,960

正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	28,932,930	26,522,596	2,410,334
② 受取会費			
普通会費収益	162,538,800	168,958,500	△ 6,419,700
終身会費収益	19,400,000	39,000,000	△ 19,600,000
③ 会館運営収益			
業務委託固定収益	289,440,000	289,440,000	0
業務委託変動収益	48,623,359	49,052,645	△ 429,286
④ 事業収益			
講演会等収益	23,448,804	25,498,484	△ 2,049,680
同好会費収益	749,066	632,961	116,105
会報等広告料収益	7,843,608	7,919,558	△ 75,950
氏名録発行収益	25,924,002	0	25,924,002
⑤ 雑収益			
受取利息及び配当金	16,002,085	16,002,214	△ 129
その他収益	3,176,121	2,840,154	335,967
経常収益計	626,078,775	625,867,112	211,663
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,533,198	2,664,724	△ 131,526
給与手当	96,344,640	97,490,214	△ 1,145,574
賞与引当金繰入額	4,960,960	4,933,580	27,380
退職給付費用	3,923,850	4,404,850	△ 481,000
福利厚生費	16,007,833	16,075,702	△ 67,869
旅費交通費	3,169,786	3,537,845	△ 368,059
電話費	771,476	813,372	△ 41,896
減価償却費	73,340,354	79,524,478	△ 6,184,124
什器備品費	803,124	705,525	97,599
事務用品費	696,592	676,575	20,017
消耗品費	4,032,577	4,856,944	△ 824,367
図書費	429,759	427,842	1,917
営繕費	18,379,360	17,728,400	650,960
施設保守費	74,736,175	72,295,203	2,440,972
給水冷暖房費	20,570,813	19,711,273	859,540
電灯電力費	34,288,978	31,403,911	2,885,067
保険料	1,053,090	1,053,090	0
租税公課	56,569,600	56,790,400	△ 220,800
会報費	60,068,451	63,184,224	△ 3,115,773
氏名録関連費	27,245,430	0	27,245,430
講演会等経費	22,724,081	23,413,911	△ 689,830
会員活動強化費	5,550,765	1,912,003	3,638,762
七大学支援費	7,537,000	7,596,500	△ 59,500
システム管理費	6,485,108	5,341,940	1,143,168
会場施設使用料	1,723,000	1,737,000	△ 14,000
事業費計	543,946,000	518,279,506	25,666,494

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費			
役員報酬	5,256,639	5,481,011	△ 224,372
給与手当	33,850,831	34,253,329	△ 402,498
賞与引当金繰入額	1,743,040	1,733,420	9,620
役員退職慰労引当金繰入額	821,251	864,173	△ 42,922
退職給付費用	1,378,650	1,547,650	△ 169,000
福利厚生費	7,187,784	7,121,933	65,851
旅費交通費	1,565,924	1,518,320	47,604
会議費	5,357,407	6,013,454	△ 656,047
賃借料	115,628	115,628	0
電話費	330,634	345,987	△ 15,353
減価償却費	3,177,246	3,032,486	144,760
事務用品費	298,547	289,967	8,580
給水冷暖房費	636,220	609,640	26,580
電灯電力費	1,060,493	971,260	89,233
租税公課	19,768,184	18,615,278	1,152,906
会員活動強化費	0	4,062,143	△ 4,062,143
会員証作成費	1,039,795	0	1,039,795
集金費	5,456,181	5,517,434	△ 61,253
業務報酬料	4,987,500	5,190,000	△ 202,500
システム管理費	5,116,509	4,713,940	402,569
雑費	1,122,596	1,675,071	△ 552,475
管理費計	100,271,059	103,672,124	△ 3,401,065
経常費用計	644,217,059	621,951,630	22,265,429
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 18,138,284	3,915,482	△ 22,053,766
特定資産評価損益等	11,820,700	△ 37,546,500	49,367,200
当期経常増減額	△ 6,317,584	△ 33,631,018	27,313,434
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 基本財産除却損	7,945,611	518,248	7,427,363
② 特定資産償還損	660,000	0	660,000
③ 固定資産除却損	1,542,934	1,013,765	529,169
経常外費用計	10,148,545	1,532,013	8,616,532
当期経常外増減額	△ 10,148,545	△ 1,532,013	△ 8,616,532
税引前一般正味財産増減額	△ 16,466,129	△ 35,163,031	18,696,902
法人税・住民税及び事業税	140,000	140,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,606,129	△ 35,303,031	18,696,902
一般正味財産期首残高	4,519,655,813	4,554,958,844	△ 35,303,031
一般正味財産期末残高	4,503,049,684	4,519,655,813	△ 16,606,129
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,503,049,684	4,519,655,813	△ 16,606,129

正味財産増減計算内訳書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

(単位:円)

科目	実施事業等会計			その他事業会計						法人会計	合計		
	会報発行事業	寄附事業	小計	会館運営事業	講演会等事業	会員親睦事業	七大学生支援事業		小計				
							その他事業	その他事業					
I一般正味財産増減の部													
I. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
①特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,932,930	28,932,930
②受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	181,938,800	181,938,800
③会館運営収益	0	0	0	338,063,359	0	0	0	0	0	0	338,063,359	0	338,063,359
④事業収益	7,843,608	0	7,843,608	0	9,862,062	30,111,514	0	10,148,296	50,121,872	0	0	57,965,480	57,965,480
⑤雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,178,206	19,178,206
経常収益計	7,843,608	0	7,843,608	338,063,359	9,862,062	30,111,514	0	10,148,296	388,185,231	0	230,049,936	626,078,775	626,078,775
(2) 経常費用													
①事業費	103,247,354	7,180,000	110,427,354	280,534,892	29,596,054	72,159,099	20,753,817	30,474,784	433,518,646	0	0	543,946,000	543,946,000
役員報酬	2,533,198	0	2,533,198	0	0	0	0	0	0	0	0	2,533,198	2,533,198
給料手当	26,013,052	0	26,013,052	26,013,052	13,488,249	14,451,696	6,744,124	9,634,467	70,331,588	0	0	96,344,640	96,344,640
賞与引当金繰入額	1,339,459	0	1,339,459	1,339,459	694,534	744,144	347,267	496,097	3,621,501	0	0	4,960,960	4,960,960
退職給付費用	1,059,439	0	1,059,439	1,059,439	549,339	588,577	274,669	392,387	2,864,411	0	0	3,923,850	3,923,850
福利厚生費	4,322,114	0	4,322,114	4,322,114	2,241,096	2,401,174	1,120,548	1,600,787	11,685,719	0	0	16,007,833	16,007,833
旅費交通費	855,842	0	855,842	855,842	443,770	475,467	221,885	316,980	2,313,944	0	0	3,169,786	3,169,786
電話費	223,728	0	223,728	0	192,869	246,872	15,429	92,578	547,748	0	0	771,476	771,476
減価償却費	1,466,807	0	1,466,807	52,071,651	733,403	11,001,053	6,600,631	1,466,809	71,873,547	0	0	73,340,354	73,340,354
什器備品費	0	0	0	803,124	0	0	0	0	803,124	0	0	803,124	803,124
事務用品費	202,011	0	202,011	0	174,148	222,909	13,931	83,593	494,581	0	0	696,592	696,592
消耗品費	0	0	0	3,226,061	403,257	403,259	0	0	4,032,577	0	0	4,032,577	4,032,577
図書費	0	0	0	429,759	0	0	0	0	429,759	0	0	429,759	429,759
営繕費	0	0	0	18,379,360	0	0	0	0	18,379,360	0	0	18,379,360	18,379,360
施設保守費	0	0	0	74,736,175	0	0	0	0	74,736,175	0	0	74,736,175	74,736,175
給水冷暖房費	411,416	0	411,416	14,605,277	205,708	3,085,621	1,851,373	411,418	20,159,397	0	0	20,570,813	20,570,813
電灯電力費	685,779	0	685,779	24,345,174	342,889	5,143,346	3,086,008	685,782	33,603,199	0	0	34,288,978	34,288,978
保険料	0	0	0	1,053,090	0	0	0	0	1,053,090	0	0	1,053,090	1,053,090
租税公課	0	0	0	56,569,600	0	0	0	0	56,569,600	0	0	56,569,600	56,569,600
会報費	60,068,451	0	60,068,451	0	0	0	0	0	0	0	0	60,068,451	60,068,451
氏名録関連費	0	0	0	0	0	27,245,430	0	0	27,245,430	0	0	27,245,430	27,245,430
講演会等経費	0	0	0	0	8,549,030	4,934,789	0	9,240,262	22,724,081	0	0	22,724,081	22,724,081
会員活動強化費	0	0	0	0	0	0	0	5,550,765	5,550,765	0	0	5,550,765	5,550,765
七大学支援費	0	7,180,000	7,180,000	0	0	0	357,000	0	357,000	0	0	7,537,000	7,537,000
システム管理費	4,066,058	0	4,066,058	725,715	604,762	604,762	120,952	362,859	2,419,050	0	0	6,485,108	6,485,108
会場施設使用料	0	0	0	0	973,000	610,000	0	140,000	1,723,000	0	0	1,723,000	1,723,000

②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,271,059	100,271,059
役員報酬											5,256,639	5,256,639
給料手当											33,850,831	33,850,831
賞与引当金繰入額											1,743,040	1,743,040
役員退職慰労引当金繰入額											821,251	821,251
退職給付費用											1,378,650	1,378,650
福利厚生費											7,187,784	7,187,784
旅費交通費											1,565,924	1,565,924
会議費											5,357,407	5,357,407
賃借料											115,628	115,628
電話費											330,634	330,634
減価償却費											3,177,246	3,177,246
事務用品費											298,547	298,547
給水冷暖房費											636,220	636,220
電灯電力費											1,060,493	1,060,493
租税公課											19,768,184	19,768,184
会員証作成費											1,039,795	1,039,795
集金費											5,456,181	5,456,181
業務委託料											4,987,500	4,987,500
システム管理費											5,116,509	5,116,509
雑費											1,122,596	1,122,596
経常費用計	103,247,354	7,180,000	110,427,354	280,534,892	29,596,054	72,159,099	20,753,817	30,474,784	433,518,646	100,271,059	644,217,059	644,217,059
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 95,403,746	▲ 7,180,000	▲ 102,583,746	57,528,467	▲ 19,733,992	▲ 42,047,585	▲ 20,753,817	▲ 20,326,488	▲ 45,333,415	129,778,877	▲ 18,138,284	▲ 18,138,284
特定資産評価損益等			0							11,820,700	11,820,700	11,820,700
当期経常増減額	▲ 95,403,746	▲ 7,180,000	▲ 102,583,746	57,528,467	▲ 19,733,992	▲ 42,047,585	▲ 20,753,817	▲ 20,326,488	▲ 45,333,415	141,599,577	▲ 6,317,584	▲ 6,317,584
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益											0	0
経常外収益計											0	0
(2) 経常外費用												
①基本財産除却損											7,945,611	7,945,611
建物附属設備除却損											7,051,150	7,051,150
構築物除却損											894,461	894,461
②特定資産償還損											660,000	660,000
③固定資産除却損											1,542,934	1,542,934
什器備品除却損											1,501,440	1,501,440
一括償却資産廃棄損											41,494	41,494
経常外費用計											10,148,545	10,148,545
当期経常外増減額											▲ 10,148,545	▲ 10,148,545
税引前一般正味財産増減額											▲ 16,466,129	▲ 16,466,129
法人税・住民税及び事業税												
当期一般正味財産増減額											▲ 16,466,129	▲ 16,466,129
一般正味財産期首残高											140,000	140,000
一般正味財産期末残高											▲ 16,606,129	▲ 16,606,129
Ⅰ指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高												
指定正味財産期末残高												
Ⅱ指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高												
指定正味財産期末残高												
Ⅲ正味財産期末残高												4,503,049,684
												4,519,655,813
												4,503,049,684

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①子会社株式：原価法によっている。
- ②その他有価証券：期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び什器備品：定率法によっている。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。また税法上の一括償却資産に該当するものは、3年間の均等償却によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ①賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ②退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- ③役員退職慰労引当金：役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(5) 実施事業資産

学士会館の面積2%相当を事務スペースとして使用。

（土地 8,647,866 円 建物 6,617,353 円）

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	432,393,320	—	—	432,393,320
建 物	374,632,674	21,583,359	65,348,354	330,867,679
小 計	807,025,994	21,583,359	65,348,354	763,260,999
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,558,744,800	660,000	4,656,800	1,554,748,000
建物設備修繕特定資産	1,512,361,068	245,350,000	263,868,829	1,493,842,239
会員活動強化特定資産	289,982,458	23,820,400	8,102,808	305,700,050
終身会費特定資産	87,300,000	19,250,000	8,745,000	97,805,000
退職給付引当特定資産	75,217,750	3,740,000	1,337,500	77,620,250
役員退職慰労引当特定資産	3,895,430	779,168	886,668	3,787,930
小 計	3,527,501,506	293,599,568	287,597,605	3,533,503,469
合 計	4,334,527,500	315,182,927	352,945,959	4,296,764,468

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土 地	432,393,320	—	(432,393,320)	—
建 物	330,867,679	—	(330,867,679)	—
小 計	763,260,999	—	(763,260,999)	—
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,554,748,000	—	(1,554,748,000)	—
建物設備修繕特定資産	1,493,842,239	—	(1,493,842,239)	—
会員活動強化特定資産	305,700,050	—	(305,700,050)	—
終身会費特定資産	97,805,000	—	(97,805,000)	—
退職給付引当特定資産	77,620,250	—	—	(77,620,250)
役員退職慰労引当特定資産	3,787,930	—	—	(3,787,930)
小 計	3,533,503,469	—	(3,452,095,289)	(81,408,180)
合 計	4,296,764,468	—	(4,215,356,288)	(81,408,180)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,097,269,603	1,766,401,924	330,867,679
什 器 備 品	276,825,133	220,692,611	56,132,522
一 括 償 却 資 産	7,978,757	6,920,016	1,058,741
ソ フ ト ウ ェ ア	68,060,408	57,595,289	10,465,119
合 計	2,450,133,901	2,051,609,840	398,524,061

5. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容	議決権所有割合
子会社	株式会社 学士会館精養軒	東京都千代田区神田錦町 3-28-1	663,527,492	飲食業・ 旅館他	100%

関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員の兼務等	事業上の関係	会館運営に伴う 施設貸与(※)	336,623,359	未収金	30,634,355
—	会館運営の委託				

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税が含まれている。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(※) 価格その他の取引は、市場実勢を参考に当会が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定している。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△ 77,620,250
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金 (①+②)	△ 77,620,250

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	3,740,000
②会計基準変更時差異の費用処理額	0
③退職給付費用 (①+②)	3,740,000

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

7. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、仕組債により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、仕組債のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

特定資産の一部は、債券、仕組債であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）がある。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資金管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金管理規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

関連する市場の動向を定期的に把握し、理事会に報告する。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細での記載を省略している。

2. 引当金明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	6,667,000	6,704,000	6,667,000	—	6,704,000
退 職 給 付 引 当 金	75,217,750	3,740,000	1,337,500	—	77,620,250
役員退職慰労引当金	3,895,430	779,168	886,668	—	3,787,930
合 計	85,780,180	11,223,168	8,891,168	—	88,112,180

財 産 目 録

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目		金	額
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	(手許有高)	497,840	
振替預金	(ゆうちょ銀行)	16,428,282	
普通預金	(三菱東京UFJ銀行他)	201,642,819	
未収金	(会館運営収入未収分他)	36,597,965	
仮払金	(鑑賞ツアーキャンセル料)	638,915	
前払費用	(損害保険、鑑賞ツアー他)	4,455,839	
流動資産合計			260,261,660
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土 地	(千代田区神田錦町三丁目 28番1, 28番2, 28番3, 28番4, 敷地3, 399.97㎡)	432,393,320	
建 物	(千代田区神田錦町三丁目 28番地1学士会館建物地下1 階付5階建延9,337.47㎡)	330,867,679	
基本財産合計		763,260,999	
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	(第311回利付10年国債他)	1,554,748,000	
建物設備修繕特定資産	(第144回三菱東京UFJ銀行債他)	1,493,842,239	
会員活動強化特定資産	(第27回三井住友銀行債他)	305,700,050	
終身会費特定資産	(三菱東京UFJ銀行普通預金他)	97,805,000	
退職給付引当特定資産	(三井住友銀行定期預金他)	77,620,250	
役員退職慰労引当特定資産	(三菱東京UFJ銀行普通預金)	3,787,930	
特定資産合計		3,533,503,469	
(3) その他固定資産			
什器備品	(電気製品他)	56,132,522	
一括償却資産	(厨房機器他)	1,058,741	
ソフトウェア	(会員管理DB他)	10,465,119	
子会社株式	(榊学士会館精養軒)	16,000	
その他固定資産合計		67,672,382	
固定資産合計			4,364,436,850
資 産 合 計			4,624,698,510
II 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	(各業者に対する未払額)	27,094,612	
前受金	(平成30年度鑑賞ツアー他)	3,644,320	
預り金	(職員他源泉所得税他)	1,370,114	
未払消費税等	(平成29年度確定消費税額)	1,427,600	
賞与引当金	(職員賞与に対する引当金)	6,704,000	
流動負債合計			40,240,646
2. 固定負債			
退職給付引当金	(職員14名分)	77,620,250	
役員退職慰労引当金	(役員18名分)	3,787,930	
固定負債合計			81,408,180
負 債 合 計			121,648,826
正 味 財 産			4,503,049,684

平成30年5月24日

一般社団法人 学士会
理事長 佐々木 毅 殿

一般社団法人 学 士 会

監 事 岡 田 明 重

監 事 橋 本 徹

監 事 福 井 俊 彦

監 事 三 木 繁 光

監 査 報 告

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの当法人の事業年度の事業報告、計算書類、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務の執行について監査を行いましたので、以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の調査を行い、当該事業年度の事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討いたしました。さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を行いました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第2号議案

任期満了に伴う理事14名の選任について

現任理事14名全員が本代議員総会終結の時をもって任期満了となります。したがって、本代議員総会にて理事14名の選任をお願いいたします。

なお、定款第26条の定めにより、本会の理事定数は10名以上15名以内となっております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1 再任	ささき たけし 佐々木 毅	東京大学 法学部 昭和40年卒	学士会 理事長 元東京大学 総長（名誉教授）、日本学士院会員 （公社）国土緑化推進機構 理事長
2 再任	おおがき しんいちろう 大垣 眞一郎	東京大学 工学部 昭和44年卒	学士会 常務理事・会員増強実行委員会委員長 （公財）水道技術研究センター 理事長 東京大学 名誉教授
3 再任	きりの たかあき 桐野 高明	東京大学 医学部 昭和47年卒	学士会 常務理事・学士会館整備検討委員会座 長、（独法）佐賀県医療センター好生館理事長 元東京大学理事・副学長（名誉教授）
4 再任	いがらし みつお 五十嵐 三津雄	北海道大学 法学部 昭和38年卒	学士会 理事 （公財）大川情報通信基金 会長 元郵政事務次官
5 再任	こばやし しゅんいち 小林 俊一	大阪大学 理学部 昭和37年卒	学士会 理事 理化学研究所名誉相談役 元東京大学 副学長（名誉教授）
6 再任	しのざわ きょうすけ 篠沢 恭助	東京大学 法学部 昭和35年卒	学士会 理事・会報編集委員会委員長 （公財）資本市場研究会 理事長 元大蔵事務次官
7 再任	かじやま ちさと 梶山 千里	九州大学 工学部 昭和39年卒	学士会 理事 福岡女子大学 理事長・学長 前九州大学 総長（名誉教授）
8 再任	ながお まこと 長尾 真	京都大学 工学部 昭和34年卒	学士会 理事 前国立国会図書館館長、日本学士院会員 元京都大学 総長（名誉教授）
9 再任	にわ ういちろう 丹羽 宇一郎	名古屋大学 法学部 昭和37年卒	学士会 理事 元伊藤忠商事株式会社 取締役会長 元中華人民共和国駐劬特命全権大使
10 再任	あべ ひろゆき 阿部 博之	東北大学 工学部 昭和34年卒	学士会 理事 元東北大学 総長（名誉教授）
11 再任	かばやま こういち 樺山 紘一	東京大学 文学部 昭和40年卒	学士会 理事 印刷博物館館長 東京大学名誉教授

1 2 再任	いなば 稲葉 のぶお 延雄	東京大学 経済学部 昭和 49 年卒	学士会 理事 (株)リコー取締役会議長、リコー経済社会研究所常 任参与、元日本銀行理事
1 3 再任	さとう 佐藤 ていいち 禎一	京都大学 法学部 昭和 39 年卒	学士会 理事 東京国立博物館名誉館長、元文部事務次官 元日本政府ユネスコ代表部特命全権大使
1 4 新任	さくらい 櫻井 りゅうこ 龍子	九州大学 法学部 昭和 44 年卒	学士会 九州大学選挙区委員会委員長 元最高裁判所判事 元労働省女性局長

第3号議案

任期満了に伴う監事2名の選任について

現任監事4名のうち、本代議員総会終結の時をもって岡田明重監事、三木繁光監事の2名が任期満了となりますので、監事2名の選任をお願いいたします。

本議案につきましては、監事全員の同意を得ております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏 名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1 再任	お か だ 岡 田 あ き し げ 明 重	東京大学 法学部 昭和 38 年卒	学士会 監事 三井住友銀行名誉顧問 元三井住友銀行会長
2 再任	み き 三 木 し げ み つ 繁 光	東京大学 法学部 昭和 33 年卒	学士会 監事 三菱UFJ銀行特別顧問 元三菱東京UFJ銀行会長

第4号議案

選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員の推薦について

本年6月末日をもって任期満了となる選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員について「学士会代議員選挙規則」第5条第3項並びに第6条第3項の規定に基づき、以下の候補者を推薦致します。

1. 選挙管理委員会委員

□推薦候補者（敬称略）

氏名	選挙区	学部・卒年	区分	経歴等
西尾 勝	東京大学	法・36	再	前地方公共団体情報システム機構理事長
児嶋 眞平	京都大学	工・34	再	京都大学名誉教授／元福井大学学長
里見 進	東北大学	医・49	新	日本学術振興会理事長／前東北大学総長
古川 貞二郎	九州大学	法・33	再	(福)恩賜財団母子愛育会会長／元内閣官房副長官
中村 睦男	北海道大学	法・36	再	北海道大学名誉教授／元北海道大学総長
平野 俊夫	大阪大学	医・47	再	量子科学技術研究開発機構理事長／前大阪大学総長
浜田 道代	名古屋大学	法・45	再	名古屋大学名誉教授／元公正取引委員会委員

2. 選挙区委員会委員

(1) 東京大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
増子 昇	工・32	再	代議員	東京大学名誉教授
伊藤 誠	経・34	新		東京大学名誉教授
青山 善充	法・37	新	代議員	(一財)日本法律家協会副会長／東京大学名誉教授
相原 博昭	理・53	再		東京大学大学執行役・副学長
武川 正吾	文・54	新		東京大学院人文社会系研究科教授

(2) 京都大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
山岡 義生	医・40	再	代議員	男山病院名誉院長／京都大学名誉教授
林田 英樹	法・41	新		(公社)日本工芸会理事長／元文化庁長官
家村 浩和	工・43	再		元近畿職業能力開発大学校校長
金田 章裕	文・44	新	代議員	京都大学名誉教授／元人間文化研究機構機構長
磯村 辰生	経・51	再		万兵(株)代表取締役社長

(3) 東北大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
大槻 幹雄	工・29	再	代議員	元富士通(株)代表取締役副社長
川村 恒明	法・34	新		元文化庁長官・元国立科学博物館館長
久道 茂	医・38	再	代議員	(公財)宮城県対がん協会会長
菊池 武尅	文・43	再		東北大学名誉教授
野家 啓一	理・46	再		東北大学教養教育院総長特命教授

(4) 九州大学選挙区 推薦候補者（敬称略：卒年順）

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
靱井 勝人	経・40	再	代議員	前日本放送協会会長
石橋 達朗	医・50	再		九州大学理事・副学長
荒殿 誠	理・50	新		九州大学理事・副学長
塚本 修	工・52	新		(一財)石炭エネルギーセンター理事長
山縣 由美子	文・56	新		九州大学理事

(5) 北海道大学選挙区 推薦候補者 (敬称略：卒年順)

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
沢 邦彦	工・34	再	代議員	元富士電機(株)社長／月島機械(株)顧問
柿田 章	医・38	再		いわき湯本病院名誉院長
佐藤 征紀	工・39	再		(特非)BHN テレコム支援協議会理事長
堀田 国元	農・42	再	代議員	(一財)機能水研究振興財団理事長
笠原 正典	医・55	新		北海道大学理事・副学長

(6) 大阪大学選挙区 推薦候補者 (敬称略：卒年順)

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
江口 順一	法・33	再		大阪大学名誉教授
楠本 正一	理・38	再		大阪大学名誉教授
日納 義郎	工・42	新	代議員	住友重機械工業(株)相談役
恵比須 繁之	歯・47	再	代議員	大阪大学大学院歯学研究科特任教授・名誉教授
井上 ゆかり	経・60	新		日本ケロッグ(同)代表職務執行者社長

(7) 名古屋大学選挙区 推薦候補者 (敬称略：卒年順)

氏名	学部・卒年	区分	特記	経歴等
内藤 茂	文・30	再		元 NHK 論説委員
片岡 大造	法・37	再	代議員	前名大全学同窓会関東支部事務局長
奥村 洋彦	経・39	再	代議員	学習院大学名誉教授
横田 昭	工・42	再		伊藤忠商事(株)理事／元名古屋大学理事
石川 靖文	農・50	再		(一社)日本開発工学会監事

(参考)「学士会代議員選挙規則」

第5条 (選挙管理委員会)

3項 選挙管理委員会の委員は、各選挙区に所属する正会員から各1名を、代議員会の推薦に基づき理事長が委嘱する。

第6条 (選挙区委員会)

1項 各選挙区に5人の委員で組織する選挙区委員会を置く。

3項 選挙区委員会の委員は、当該選挙区に所属する正会員から、代議員会の推薦に基づき理事長が委嘱する。この場合、代議員である者を2名を超えて委嘱することはできない。

